



せたがや区議会だより

No.226

平成22年(2010年)7月16日
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL (5432) 1111代表 FAX (5432) 3030
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

仮称二子玉川公園用地の取得などを可決

第2回 定例会

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から18件、議員から1件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。また、議員の派遣も決まりました。

●条例の改正 8件

- 職員育児休業条例 (全員賛成)
- 職員育児休業法の改正に伴う、育児休業等取得できる職員の範囲の変更など。
- 職員の勤務時間、休日、休暇条例 (全員賛成)

○区税条例

- 賛成多数 賛成 良政、民主、生、政策、社民、無党派、減税、虹、世田谷、無所属、反対 共産
- 国民健康保険法の改正によるもの。
- 国民健康保険法の改正によるもの。

○公園条例 (全員賛成)

- 太子堂三丁目公園(太子堂3-33-3)の新設。
- 身近な広場条例 (全員賛成)
- 桜新町広場の廃止。
- 包括外部監査契約の締結 1件 (全員賛成)
- 相手方 山下康彦(公認会計士) 契約金額 六九九万五〇〇円を上限とする額
- 工事請負契約の締結 6件 (全員賛成)
- 芦花小・中学校、八幡山保育園改築工事

●財産の取得 1件

- 仮称二子玉川公園用地 (賛成多数 賛成 良政、民主、生、政策、社民、減税、虹、世田谷、無所属、反対 共産、無党派)

●議員の派遣 1件

- 賛成多数 賛成 良政、民主、生、政策、社民、無党派、減税、虹、世田谷、無所属、反対 共産、減税
- ウイニベグ市姉妹都市提携40周年記念事業への参加のため、議員4名を派遣。

請願

- 福祉保健委員会に付託 2件
- 光母寺の給田墓地建設計画に関して、「公共の福祉の観点から協議できること」を求める陳情
- より多くの区民が世田谷区保育室を安心して利用できるようになるための陳情
- ◆都市整備委員会に付託 2件
- 世田谷区議会が、世田谷区街づくり条例の在り方について、参考人の意見を聞くことを求める陳情
- 現行街づくり条例第22条第2項ただし書きの修正を求める陳情
- ◆公共交通機関対策等委員会に付託 1件
- 「連続立体交差事業協議会の協議・調整の過程を説明できるようにしていくこと」及び、この種会議体の議事録作成を求める陳情



中高生世代の祭典『ティーンエイジカーニバル2010』の様子(成城ホール)

工事名	相手方・契約金額
改築	東光・協栄・儘田建設共同企業体 三三億一八〇〇万円
電気設備	石野・中央建設共同企業体 五億二五八万五千円
空気調和設備	田中・大曾根建設共同企業体 四億七〇四〇万円
給排水衛生設備	大立・杉山建設共同企業体 三億九九〇〇万円

- 工事概要 鉄筋コンクリート造地上4階建「芦花小・中学校」特別支援学級、パソコン室、太陽光発電スペースなど「八幡山保育園」1〜5歳児の各保育室、遊戯室など
- 仮称給田五丁目障害者福祉施設新築工事 (全員賛成)
- 相手方 株式会社中島建設東京営業所
- 契約金額 二億二〇八九万五千円
- 工事概要 鉄筋コンクリート造地上2階建(多目的スペース、食堂、調理室、医務室、作業室、太陽光発電スペースなど)
- 補助第125号線整備工事(その2) (賛成多数 賛成 良政、民主、生、政策、社民、減税、虹、世田谷、無所属、反対 共産、無党派)

- 相手方 豊田・片倉建設共同企業体
- 契約金額 七億七六九万九千五百円
- 工事概要 トンネル設置工、車道整備工、仮設歩道整備工、迂回路設置工、高規格堤防工
- 工事委託契約の締結 1件
- 代田区民センター・代田六丁目市街地住宅の建物除却等工事 (全員賛成)
- 相手方 独立行政法人都市再生機構東日本支社
- 契約金額 二億二六八万四千七百円
- 工事概要 「区施設部分」鉄筋コンクリート造地上10階地下1階の地下1階、地上1階及び2階部分

所在地	延長(m)
大蔵5-8-9	111.79

- 議員提出議案 1件
- 区議の報酬・費用弁償条例の改正 (全員賛成)

- 「連続立体交差事業協議会の協議・調整の過程を説明できるようにしていくこと」及び、この種会議体の議事録作成を求める陳情

- 会派名等
- 自民 自由民主党世田谷区議団
- 公明 公明党世田谷区議団
- 民主 民主党世田谷区議団
- 共産 日本共産党世田谷区議団
- 生ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団
- 政策 せたがや政策会議
- 社民 社会民主党世田谷区議団
- 無党派 無党派市民
- 減税 減税世田谷
- 虹 レインボー世田谷
- 世田谷 世田谷無所属の会
- 無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつなどは禁止されています。

代 表 質 問

6月9日及び10日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団

六戸 のりお議員

将来を見通した行財政運営

質問 極めて厳しい財政状況の中、将来を見通した行財政運営が必要だ。基礎的自治体として行政サービスのあり方を十分に精査し、思い切った行財政改革を行え。

区長 徹底した行財政改革を行い、区民目線でサービスを展開する。

区政改革に向けた区の方針

質問 区は23年度予算編成に向けた事業や中長期的課題を検証するために政策検証委員会を設置した。今後出される委員会の提言から区政改革の方針をどうまとめるのか。

区長 全庁的な点検の方針をとりまとめ、区政改革に取り組み、中小企業への融資制度の充実

質問 区内事業者の経営環境は依然として厳しい状況だ。緊急総合経済対策として実施している緊急特別小口融資制度の継続を初め、さらなる融資制度の拡充を図れ。

区長 区内の景気動向などを見きわめ、効果的な支援策を検討する。

区内共通商品券の一層の発行支援

質問 プレミアム付区内共通商品券発行の有効性は、経済波及効果や費用対効果の分析結果からも明らかだ。景気低迷が続く今こそ、区はさらなる発行支援を行え。

区長 事業者、消費者などの意向や経済効果を踏まえて判断する。

梅ヶ丘病院跡地利用の基本構想

質問 梅ヶ丘病院跡地に保健医療福祉の全区的拠点を整備することは有意義だ。基本構想策定に向け、サービス内容を精査し、財政負担を踏まえた整備手法も工夫せよ。

副区長 全区的な視点から施設機能のあり方を中心に取組みたい。

低炭素社会実現に向けた取り組み 低炭素社会への移行を目指す環境基本計画の実現は、区だけの取り組みでは困難だ。区民や事業者と理解と協力を求め、環境に負荷をかけない行動を促進せよ。

区長 区民の理解を得て、世田谷の特色を生かした環境施策を行う。

国有地を活用した保育施設の整備

質問 国は区の提案を受け、未利用地を自治体などに貸し出す仕組みを検討中だと聞く。区は、前例のない保育サービス定員の拡大を目指す中で国有地の活用を図れ。

副区長 事業の枠組みや財源のあり方などを整理して取り組みたい。

保育施設のさらなる整備 増大する保育需要への対応が急務だ。22年度の目標である1500名の保育サービス受入枠の拡大に向け、民間も含めた既存施設の活用など、多様な手法を取り入れよ。

子ども部長 質の高いサービスを提供できるように全力で取り組む。

地域での高齢者見守り施策の推進

質問 全高齢者実態調査によると13%の高齢者が孤立感を覚えている。地域住民や関係団体と連携し、地域のさすなを深めながら高齢者を見守る仕組みを構築せよ。

地域福祉部長 安心して地域で暮らせるまちづくりを推進する。

将来を見据えた高齢者施策

質問 団塊世代が後期高齢者となる2025年には、高齢化率が27%となるなどの試算がある。ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加を見据え、区はどう対応するのか。

地域福祉部長 見守り施策の拡充など、各種サービスの充実を図る。

教員人事権移譲に向けた取り組み

質問 世田谷9年教育には区の教育方針を理解した教員の確保が不可欠だ。区立校設置者として区が責任を持ち教員を育成できるように、国や都に人事権移譲を働きかけよ。

教育長 必要性を認識しており、引き続き国や都へ強く働きかける。

区立校統合で生じる跡地の活用

質問 区立校の統合で生じる跡地は将来を見据えた幅広い視点で活用を検討すべきだ。子育て支援や高齢者福祉の推進など、区の重要課題の解決に向けて有効活用せよ。

政策経営部長 土地・公共施設政策委員会でも有効活用策を検討する。

公明党世田谷区議団

佐藤 弘人議員

がん検診無料クーポン事業の継続

質問 乳がんや子宮頸がんの検診無料クーポン事業は受診率向上に有効だが、国が経費を区と折半にしたため区は事業継続を見送った。区が財政負担してでも継続せよ。

保健所長 女性のがん無料検診事業の継続について今後も検討する。

ワクチン接種への公費助成の拡充

質問 区民の生命を守ることが、区の最優先課題だ。予防型行政の視点で、医療費の削減にもつながる子宮頸がんや肺炎球菌などのワクチン接種への助成を行え。

保健所長 国の予防接種行政の見直し作業を注視し、検討する。

認証保育所の定員増

質問 保育待機児の解消は急務だ。認証保育所利用者への補助の拡充を視野に、認可保育園のみならず、認証保育所の定員増にも取り組む。

子ども部長 需要の多い認可保育園の分園の整備を中心に取り組む。

高齢者の見守り事業の試行

質問 高齢者見守りネットワークの構築が必要だ。まずはモデル地区を設け、区がコーディネート役となつて町会や自治会、民生委員などと連携し、見守り事業を行え。

副区長 今後も一層効果的な見守りネットワークの構築に取り組む。

低所得高齢者専用賃貸住宅の整備

質問 高齢者の住まい確保は喫緊の課題だ。公有地の定期借地権を活用し、民間事業者を誘導して適切な負担で入居できる低所得高齢者専用の賃貸住宅の整備を図れ。

都市整備部長 国や都の動向を踏まえ、普及啓発の方策を検討する。

映像コンテンツによる地域活性化

質問 集積を図る映像コンテンツ産業を地域活性化につなげる体制を築くべきだ。映像コンテンツによる広報戦略の部署を設け事業者との橋渡しを行う人材を配置せよ。

産業政策部長 関係部署と連携し

で、横断的な仕組みを検討する。不登校の子どもへの支援の充実

不登校の子どもへの支援の充実

質問 不登校の子どもへの支援を充実すべきだ。スクールソーシャルワーカーの拡充やほっとスクール城山の老朽化に伴う改修、第3のほっとスクールの新設を行え。

教育長 第3のほっとスクールの整備に向け、積極的に取り組む。

公契約条例の制定

質問 区の実情に即した公契約条例を制定すべきだ。条例を制定した際の区内産業や住民福祉、地域経済などへの影響を検討するため、仮称公契約検討委員会を設置せよ。

財務部長 設置の必要性を含め、公契約のあり方の検討を進める。

公共施設的环境性能の可視化

質問 区が率先して地球温暖化対策を講じるべきだ。CASBEEなど、環境性能を評価するシステムを公共施設に導入し、環境負荷の低減効果を区民に明確に示せ。

環境対策室長 関係所管と連携し、指標の可視化への検討を進める。

世田谷区議会民主党

西村 じゅんや議員

教育委員会の政治的中立性

質問 教育行政に携わる者は特定の政治的立場に偏ることがあってはならないが、過日、教育長が特定の政治家のパーティーに出席したことが報道された。見解を示せ。

教育長 都政報告会との案内だったため社会的儀礼と考え参加した。

外郭団体改革の推進

質問 スポーツ振興財団が委託先社員の着服事件が発覚した後も同企業と契約を継続していることは問題だ。区は外郭団体の危機管理を含めた改革を一層進めよ。

政策経営部長 危機管理が徹底されるよう適切な指導や調整を行う。

民間提案型業務委託の導入

質問 区が外部委託を進める上で、コスト削減だけでなくNPOなどが活躍する機会の創出という視点も重要だ。区の事業に民間提案型の業務委託を取り入れよ。

政策経営部長 民間提案型業務委託について課題はあるが研究する。

精神保健を担う拠点の整備

質問 増加している精神疾患の患者を地域で支える環境の整備は重要だ。精神保健や医療を担う拠点を都立梅ヶ丘病院跡地に設置せよ。

副区長 梅ヶ丘病院跡地利用のあり方を含め具体的に整理検討する。

福祉施設整備への区民意見の反映

質問 福祉施設の整備では、幅広い区民の声を聞くことが大切だ。高齢者団体などの意見交換の場を設けて効率的な整備運営を図れ。

保健福祉部長 多様な手法により、的確なニーズの把握に努める。

区民と協働したまちづくりの推進

質問 まちづくりには区民との十分な協議による信頼関係の構築が不可欠だ。鉄道連立事業に伴う周辺まちづくりには、行政主導ではなく区民参画を確保して取り組め。

副区長 広く区民に対して情報提供を行い、意見の把握に努める。

日本共産党世田谷区議団

里吉 ゆみ議員

住宅リフォーム助成制度の拡充

質問 住宅リフォームへの助成は、工事需要の増加につながり経済効果が非常に高く、地域経済の活性化に大変有効だ。補正予算を組んでも早急に助成制度を拡充せよ。

都市整備部長 現行制度の周知に努め、区内中小企業の振興を図る。

緊急特別小口融資制度の拡充

質問 先の予算特別委員会でも我が党の質問に対し、区は緊急特別小口融資制度の受付期間及び据え置き期間と返済期間の延長を検討すると答えた。検討状況を示せ。

産業政策部長 区内の景気動向を見きわめ、対応策の検討を進める。

公契約条例制定に向けた取り組み

質問 過度の低価格入札がふえており、公共工事などの質や労働者の賃金の低下が危惧される。公契約条例の制定に向け、課題の整理などを行う検討委員会を設置せよ。

財務部長 検討委員会設置の必要性などの調査検討を進める。

学童クラブの児童数急増への対応

質問 不況で共働き世帯がふえており、学童クラブの登録児童数の急増への対応が急務だ。職員や場の確保など、必要な対策を行え。

子ども部長 中長期的なあり方の検討の中で対策も検討する。

給田の墓地建設問題への対応

質問 墓地建設予定地が何度も差し押さえられるなど、給田の墓地建設計画事業者に永続的に経営を行う経済的保障がないことは明白だ。事業者の財務状況を調査せよ。

保健所長 許可申請が出た場合は、法令にのっとり厳正に審査する。

街づくり条例改正案の見直し

質問 反対意見もある都市整備方針の遵守を街づくり条例に位置づけることは、住民参加を目指す条例の理念に反する。撤回せよ。

都市整備部長 条例の総合基本方針を明確にする改正である。



「たすけっし」で福祉用具の展示と相談を行っています。(松原6-41-12)

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様をホームページで生中継・録画中継しています。
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/
議会中継をクリック!

生活者ネットワーク世田谷区議員
桜井 純子議員

指定管理者の事業評価

質問 区施設に導入した指定管理者制度の効果が不透明だ。指定管理者の事業評価を行うための指標を明確に定め、指定管理者制度導入によるメリットを明らかにせよ。
政策経営部長 さまざまな課題を踏まえ、今後研究していく。

男女共同参画施策の推進

質問 区は男女共同参画を推進する上で新たな課題に対応するため、23年度には男女共同参画プランの調整計画の策定に着手予定だ。調整計画の取り組み方針を示せ。
副区長 国の状況を把握し、多くの区民の意見をもとに取り組み。

子どもに対する人権教育の推進

質問 互いに尊重し合う人間関係を築く力を子どもが持つには、子どもの人権意識を高めることが重要だ。子ども条例の理念に沿い、区が率先して人権教育を推進せよ。
教育長 すべての教育活動を通じ、人権教育を一層推進する。

虐待を受けた子どもへのケア

質問 虐待で傷ついたり子どもには、継続的なケアが重要だ。成人後も視野に入れた心のケアの充実に、地域とも連携を図って取り組み。
区長 成人後も視野に入れ、地域の医療機関とも連携して対応する。

精神障害者の就労支援の充実

質問 地域での精神障害者の生活を支える体制の整備が必要だ。自立に不可欠な就労を一人ひとりの状況に応じて総合的に支援する拠点を梅ヶ丘病院跡地に整備せよ。
副区長 障害者が働き続けられる環境整備に向け具体的に検討する。

ごみ処理コスト増加への見解

質問 20年度からの廃プラスチック焼却により、かねてから指摘したとおり処理コストは大幅にふえた。コスト増への区の見解を示せ。
清掃リサイクル部長 減少した経費もあり今後コスト面からも検証する。

せたがや政策会議
大庭 正明議員

財源不足への職員の危機感の欠如

質問 区は財源不足を基金取り崩しで穴埋めしており、25年度には基金が枯渇して予算を組めなくなることが危惧される。健全財政に向け全職員に危機感を共有させよ。
区長 政策検証委員会を設け行財政改革を進める旨を周知徹底した。

職員の人件費の削減の効果

質問 大阪府は職員の基本給などを引き下げ年間約300億円の人件費を削減した。大阪府と同様の方法を区で行った際の削減効果を示せ。
政策経営部長 区が実施したと仮定すれば、約18億円の削減となる。

区長の決断による人件費の削減

質問 特別区人事委員会の勧告は、各区の財政状況を勘案したものとは言えない。区長は勧告に加え、独自の判断でも人件費を削減せよ。
区長 特別区人事委員会の勧告を尊重して、適切に対応したい。

職員の活性化に向けた呼称変更

質問 職員の活性化は重要だ。区が使用している総括係長という呼称を課長補佐というわかりやすい呼称に変えることで、職員の責任の明確化と意識の向上を図れ。
総務部長 課長補佐として発令している9名の呼称使用を考える。

サービス公社の積立金の総額

質問 世田谷サービス公社の利益のほとんどは、区からの受注で得られた元は税金といえる。社屋建設積立金などの積立金の総額を示せ。
政策経営部長 20年度決算数値で、計20億円の積立金を保有している。

複数の目的を達成する制度の設計

質問 一つの事業で複数の目的を達成できる施策を検討すべきだ。高齢者の見守りの強化や省資源化、歳入確保につながるごみの戸別収集と有料化について、見解を示せ。
政策経営部長 創意工夫を生かしながら、課題解決に取り組む。

一 般 質 問

6月10日及び11日の本会議では、30名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

稲垣 まやよこ議員(民主)
障害者施設の整備拡充

質問 障害者グループホームなどの増設が叫ばれる中、昨今の厳しい財政状況下では整備は困難だ。施設増設を掲げた障害者計画の実現に区はどう取り組むのか。
答弁 NPOなどの連携や都市地の活用を図り、整備を進める。

次期障害福祉計画の策定方針

質問 区が24年度から26年度までの障害福祉計画の策定を予定する一方で、国は25年度に障害者自立支援法を廃止する見込みだ。計画策定に向けた区の方針を示せ。
答弁 新たな制度の構築などの国の動向を踏まえ、対応する。

国有地取得の進捗状況

質問 上用賀4丁目の衆議院速記者養成所跡地について、地元街づくり協議会が立ち上がり、今後の活用についての議論が始まった。土地の取得などの進捗状況を示せ。
答弁 都市公園用地として取得の要望をし、国の審査を待っている。

平塚 敬二議員(公明)

みどり33実現への財政的取り組み
質問 みどり33の実現を財政面で支える仕組みの充実が必要だ。ふるさと納税の制度を利用することにより、全国からみどりのトラスト基金への寄附を集めよ。
答弁 インターネットなどによるさらなる情報発信に取り組む。

災害時の助け合いネットワーク

質問 災害時助け合いネットワークの構築への支援は重要だ。地域のきずなが希薄化する中、町会などが自助や共助の担い手となる人材を確保できるよう一層支援せよ。
答弁 今後も住民相互の顔の見えの関係をづくりの支援を進める。

学び合いによる少人数教育の充実

質問 区は世田谷9年教育の推進に向けて少人数教育のさらなる充実を掲げた。子ども同士が学び合い補い合う学習方法を取り入れ、子ども全体の学力向上につなげよ。
答弁 学び合いを含めたさまざまな指導方法の改善などに努める。

上川 あや議員(虹)
在宅介護給付は必要量を支給せよ

質問 24時間介護が必要な最重度障害者に区は一律17時間までしか介護を支給せず、毎月8〜20万円もの個人負担を強いっている。その負担の重さを区はどう考えるのか。
答弁 負担については、大変ご苦労されていると認識している。

最重度障害者切り捨ての予算編成

質問 保健福祉部は22年度予算の編成過程で最重度障害者の介護支給1日3時間増を目指し予算増を要求したが、区の結論はゼロ回答。財政状況を理由に命は切り捨てか。
答弁 国の制度改正の動きや将来の財政負担などを考慮し判断した。

区教委は入院中の子どもに無関心

質問 区内に300以上の病床を持つ小児科併設病院は5カ所あるが、院内学級は都立の1カ所しかない。入院中の子の教育ニーズを把握し、区立の院内学級の開設も検討せよ。
答弁 教育ニーズの把握に努め、院内学級について今後研究する。

唐沢 としみ議員(社民)

地域主権実現への取り組みの強化
質問 地域主権の実現への取り組みを強化すべきだ。住民と協働したまちづくりを先進的に進めている自治体と連携し、研究の場を設けるなど、住民自治を前進させよ。
答弁 今後も先進自治体との交流を行い、住民自治の前進に努める。

地域主権の実現に向けた人材育成

質問 区民と協働して課題解決に取り組むことこそが、地域主権の実現につながる。区民の目線に立つて施策を考え、区民と向き合い、ともに行動できる職員を育成せよ。
答弁 区民から信頼される自治の推進を担える人材の育成を図る。

区政発展に向けた政策検証委員会

質問 政策検証委員会の設置を評価する。区民に真に必要な施策を削減することのないよう検証素材の選定は慎重に行い、提言を踏まえた効率的な区政の実現を目指せ。
答弁 提言を踏まえて施策点検し、効率的な区政運営を着実に進める。

岸 武志議員(共産)
ワクチン接種費用の助成の拡充

質問 区民の生命を守ることは区の最優先課題だ。区は高額の自己負担が必要となっているHibワクチンや肺炎球菌ワクチンなどの接種費用への助成を早急に行え。
答弁 国の予防接種行政の全般的見直し作業を注視し、検討したい。

成城学園前駅の交通便利性の向上

質問 成城学園前駅のタクシー乗り場の整備拡充を求める声を聞く。区民の利便性を考慮し、整備されつつある西口の交通広場へのタクシー乗り場の設置を検討せよ。
答弁 交通に影響が大きいバスを先行して交通広場に収容していく。

高齢者施設の整備促進

質問 在宅生活が困難な高齢者には施設への入所の可否は切実な問題だ。成城8丁目の都営団地の建てかえで生じる残地への特養ホームなどの整備を早期に実現せよ。
答弁 都から理解と協力を得られるよう、今後も取り組む。

村田 義則議員(共産)

核兵器廃絶への取り組み
質問 NPT再検討会議で最終文書が採択され、核兵器廃絶への取り組みが一段前進した。平和都市宣言を行い、平和市長会議にも加盟した区は平和事業を一層進めよ。
答弁 今後も平和事業を通じ核兵器廃絶を願い平和の尊厳を訴える。

認証保育所への指導方法の改善

質問 区内の認証保育所での補助金不正受給問題を受け、区は保育の質の確保に向けた独自の仕組みを確立するとして、認証保育所への指導方法はどうか改善されたのか。
答弁 補助金の審査をより厳格化し、巡回指導の回数もふやした。

保育サービスの質の確保

質問 保育サービスの質の確保に向けた取り組みが必要だ。区内認証保育所で適切な労働条件や労働環境が確保され、サービスの向上につながるよう必要な対応を行え。
答弁 今後も、質の向上に向けて区としてできることに努める。



キャンドルナイトの様子(世田谷ものづくり学校)

本文中で使用している省略表記

- 保健所長
- 環境対策室長
- 全高齢者実態調査
- 支所
- 世田谷保健所長
- 環境総合対策室長
- 全高齢者実態把握調査
- 総合支所

藤井 まな議員(民主)

大蔵第二運動場の駐車料金の割引

大蔵第二運動場利用者から施設駐車場料金が有料であることに疑問の声が上がっている。厚生年金スポーツセンター当時であった駐車場料金割引制度を復活せよ。

答弁 利用者意見を参考に総合的に判断し、よりよい運営を目指す。

視覚障害者の歩行環境の改善

横断歩道に点字ブロックを敷くエスコートゾーンは、音響式信号機と併せて整備しなければ視覚障害者を危険にさらすだけだ。一体的な整備を警察に働きかけよ。

答弁 音響装置の併設などについて、交通管理者へ整備を要望する。

三軒茶屋2丁目地区のまちづくり

三軒茶屋2丁目の再開発事業第四区は、建物の多くが老朽化しており、地域の不安要素となっている。地域の声を受け、将来像を踏まえた区の整備方針を示せ。

答弁 地区計画などの都市計画手法について都などと協議していく。

中村 公太朗議員(民主)

栄養を意欲した健康促進策

健康維持のために必要量の栄養素の摂取は不可欠だ。野菜は季節によりビタミン含有量が大きく変わることを踏まえ、旬を意識した栄養摂取を啓発せよ。

答弁 食の旬や栄養価に配慮したきめ細かな取り組みを進める。

保育士体験の参加促進

共働き世帯がふえる中、親子のコミュニケーションの充実が重要だ。子どもへの意識向上につながる保育士体験に多くの保護者が参加できるよう工夫せよ。

答弁 より多くの方が気軽に参加できるように積極的にPRする。

育児休業取得率向上への取り組み

育児休業法が改正され、育児休業の取得率が期待される。法改正の趣旨が実現するように、育児休業を取りやすい環境づくりを区が率先して企業に働きかけよ。

答弁 東京商工会議所や産業団体とともに法の趣旨の周知に努める。

畠山 晋一議員(自民)

特養ホームの整備推進

団塊の世代の高齢化に伴い、急増が予想される要介護高齢者への対策が急務だ。10年20年先の施設利用者の増加を見据え、特養ホームの整備に一層力を注げ。

答弁 次期介護保険事業計画の策定過程で整備数量などを検討する。

児童虐待の早期発見への取り組み

児童虐待の早期発見に向け、区がきめ細かく子どもの実態把握に努めるべきだ。乳児期家庭訪問事業や3〜4か月児健診などを通じ、乳児の実態把握100%を目指せ。

答弁 あらゆる機会を通じ、虐待の兆候の早期発見に努める。

児童虐待防止に向けた支援の方策

虐待から子どもの命を守るには、子育て家庭への積極的な支援が不可欠だ。早い時期からの予防を初め、早期発見や早期対応を今後区はどう進めていくのか。

答弁 子育て支援事業の周知や相談を担当する職員の育成に努める。

吉田 恵子議員(生ネ)

在宅療養の充実に向けた人材確保

在宅療養の展開には訪問看護師の充実が不可欠だ。看護師資格を有しているが看護職についていない人材の発掘に取り組むなど、看護師の確保を積極的に進めよ。

答弁 さまざまな取り組みと工夫で訪問看護の人材確保に努める。

デートDVのわかりやすい啓発

デートDVの正しい理解の促進に取り組むべきだ。若い世代が受け入れやすい内容のパンフレットを作成し、コンビニなどの手に取りやすい身近な所に配置せよ。

答弁 デートDVをわかりやすく紹介する方策を検討する。

世田谷公園での平和式典の開催

平和都市宣言25周年事業が8月に世田谷区民会館で行われる。核廃絶を掲げた区ならば、平和関連のオブジェや被爆樹二世がある世田谷公園でも式典を開催せよ。

答弁 世田谷公園を活用した平和事業について検討する。

あべ 力也議員(減税)

自動二輪車駐輪場の整備拡充

自動二輪車数はふえており、区内の駐輪場の確保が大きな課題となっている。自動二輪車の種別も考慮の上、鉄道事業者との協力や区駐輪場での対応をふやせ。

答弁 今後も既存施設の有効活用や民間駐輪場の整備誘導を図る。

男性職員の育児休業取得の促進

区の男性職員の育児休業取得率はとても低い状況だ。民間への牽引役としての役割を踏まえ、男性職員も育児休業を取得しやすい職場環境づくりを一層進めよ。

答弁 男性職員も育児に参加しやすい職場環境づくりに取り組む。

自転車通勤の促進

環境意識の高揚を図るため、自転車通勤促進への取り組みを進めるべきだ。自転車通勤をしている職員から意見を聴取し、今後の自転車走行環境の整備に生かせ。

答弁 自転車通勤促進に向け、職員へのモニタリングを検討する。

羽田 圭三議員(社民)

平和市長会議加盟への区長の決意

戦争犠牲者への戦後補償は、連立政権の下でやや進んだ。被爆65周年と区の平和都市宣言25周年の節目に当たる今年に平和市長会議に加盟した区長の決意を示せ。

答弁 核兵器廃絶と戦争のない社会の実現を目指し全力で取り組む。

若者の雇用促進策

若者の雇用情勢は依然として厳しい。区内の中小企業が若者の就労支援に果たす役割は大きく、区は中小企業への経営支援をさらに強め、若者の安定雇用をふやせ。

答弁 関係機関と連携し、若者の就労に向けて企業に働きかける。

高齢者サービスのあり方

高齢者人口が増加する中、高齢者が安心して暮らせる地域づくりが急務だ。住みなれた地域で医療と介護を安心して受けられる地域包括ケアの体制を整備せよ。

答弁 区の先駆的な福祉の事業を通じ地域包括ケアの構築に努める。

大場 やすのぶ議員(自民)

区内観光振興の促進

観光振興は地域経済の活性化につながる。観光振興に向けた指針を定め、各部署での事業を観光振興につなげるという発想を持って区民の区内観光をも促進せよ。

答弁 地域の知恵も借りながら、観光アクションプランをまとめる。

次世代の係長級職員の育成

区政の最前線の組織を運営する係長級職員の役割は大きい。団塊世代の退職で区政の弱体化を招かないよう、次世代の係長級職員となる人材を計画的に育成せよ。

答弁 少数精鋭の強い組織の実現に向け、人材育成を積極的に進めよう。

裁判によらない畦畔問題の解決

裁判によらず区が独自に畦畔の時効取得を認める制度を構築すべきだ。公共物の時効取得を認めた過去の判決などを参考に、時効取得を認める際の基準を設けよ。

答弁 第3回定例会を目前に、新たな仕組みについて提案する。

田中 優子議員(政策)

世田谷美術館の魅力向上

23年度の世田谷美術館の大規模改修に合わせ、地下に民間手法を活用したカフェを設置することを先の予算委員会提案した。区に取り組み考えはあるのか。

答弁 魅力向上の観点から意義のあることと考え、検討している。

自殺対策の強化

同性愛者など性的マイノリティーの自殺リスクは高く、社会の偏見を取り除く取り組みが自殺対策につながる。まずは区立校の養護教諭を対象に専門研修を行え。

答弁 養護教諭などを対象に、理解を深める内容の研修を企画する。

世田谷トラストまちづくりの支援

トラストまちづくり大学や地域共生の家など、世田谷トラストまちづくりのすぐれた自主事業を一層発展させるべきだ。区は連携をさらに積極的に支援せよ。

答弁 区ホームページでの紹介などで財団の事業促進を支援する。

青空 こうじ議員(無所属)

教員人事権の移譲の効果

区の教育の充実には、区の方針を理解し、世田谷に愛着を持つ教員の確保が不可欠だ。区立校の教員の人事権が都から区に移譲された場合の効果を示せ。

答弁 長期的展望で、区の教育方針を理解した教員を育成できる。

教員の人事権移譲への取り組み

国は都道府県が条例を定めれば教員の人事権の区市町村への移譲は可能だとの見解を示した。教育の充実に向け、この機を逃さず国や都に人事権移譲を求めよ。

答弁 今後も、あらゆる機会をとらえて国や都に強く働きかける。

区民一人ひとりのエコ活動の促進

良好な地球環境を次世代に引き継ぐためには、地球に住む一人ひとりが環境に配慮して生活することが必要だ。区は区民のエコ活動の促進と支援に一層取り組み。

答弁 区民が身近なエコに一層取り組めるよう啓発や支援を行う。

木下 泰之議員(無党派)

小田急線連立事業での説明責任

都と関係自治体、小田急電鉄による小田急線連立事業に関する協議会の会議録が不在なのは問題だ。協議会での議論の過程について、区長は説明責任を果たせ。

答弁 事務局である都で作成していないため、議事録は存在しない。

京王線連立事業での都の対応

都が京王線連立事業で構造形式への説明責任を果たさずに都市計画案を示し、国の採択がない区間の環境影響評価の進められたことは間違いだ。見解を示せ。

答弁 都が環境影響評価法の手続を行うことは妥当と考える。

学校給食施設の改善

法定化された学校給食衛生管理基準に基づき給食施設の改築や改修を行うべきだ。今後は全区立校を対象にどう調査を行い、改築や改修に取り組んでいくのか。

答弁 今後、現状把握を行い、その結果を検証し、方策を検討する。

中塚 さちよ議員(民主)

成城学園前駅のバス渋滞の解消

成城学園前駅南口のバス渋滞は地域の長年の課題となっており、西口交通広場へのバス停の移設が望まれている。課題解決に向けた今後の区の取り組みを示せ。

答弁 23年度に西口に一部路線の降車場を整備すべく調整している。

コミュニティバス路線の拡充

交通不便地域の解消にコミュニティバスが果たす役割は大きい。住民の移動手段の確保のため、不採算路線への経済的支援も視野に増便や路線拡大を検討せよ。

答弁 今後とも、バス事業者と情報交換を行っていく。

区民成年後見人へのさらなる支援

区は区民成年後見人の対象を広げると聞く。被後見人の病院への付き添いを求められるなど本来業務を超えた負担が予想される区民成年後見人への支援を充実せよ。

答弁 これまでの取り組みに加え、今後も支援体制の充実を努める。

中里 光夫議員(共産)

高齢者の住宅確保支援

入居者死亡後の後片づけ費用が貸主の負担となっていることが、ひとり暮らし高齢者の住宅確保を困難にしている。区の居住支援制度はこの費用を保証するのか。

答弁 一定の限度額以内で保証し、利用者と家主の安心を支えている。

外国語による相談窓口の拡充

外国人へのきめ細かな行政サービスが必要だ。外国人に住民票制度が導入されることを見据え、本庁にしかない外国語による相談窓口を支所にも設置せよ。

答弁 相談需要の動向など、今後の状況を見きわめながら検討する。

小田急線上部利用計画案の策定

先般、小田急線上部利用検討委員会は区民意見を整理した検討の取りまとめを発表した。区は今後策定予定の上部利用計画案にこの取りまとめの成果を反映せよ。

答弁 区民意見を募集するなどして、意見の反映に努めていく。

問

高久 則男議員(公明)

山口 ひろこ議員(自民)

杉田 光信議員(公明)

風間 ゆたか議員(民主)

山内 彰議員(自民)

石川 征男議員(自民)

都市型ケアハウスの整備
都市部でのひとり暮らしが困難な低所得高齢者向け施設の整備は喫緊の課題だ。都の補助制度を活用して低額な料金で入所できる都市型ケアハウスを整備せよ。

不妊治療費への公費助成
胎児が育たず流産や早産を繰り返して生児が得られない不妊症に悩む患者は多い。治療にかかる経済的負担の軽減を図るため、高額な治療費への公費助成を行え。

下北沢駅周辺のまちづくり

下北沢駅周辺まちづくりでは井の頭線の盛り土部分を有効活用すべきだ。盛り土部分を高架化して駐輪場や公共施設整備への活用を図るよう京王電鉄と協議せよ。

商店街を支えるさらなる取り組み

区内への大型店の進出が相次ぐ中、区内の商店街の衰退が危惧される。地域住民と商店街との歴史あるきずなの灯が消えることのないよう、さらなる支援を行え。

竹村 津絵議員(生ネ)

生ごみリサイクルの推進

多くの区民が生ごみリサイクルに参加できる取り組みを進めるべきだ。家庭で出た生ごみからつくった堆肥を活用して野菜づくりを楽しめる体験農園をつくれ。

路線バスの利用の促進

高齢者等の交通手段として路線バスの必要性は高いが、利用者が減り既存のバス路線は縮小傾向にある。路線図をPRするなど、バスの利用を積極的に呼びかけよ。

田園都市線の混雑の抜本的改善

二子玉川再開発に伴う商業施設の新設などで、田園都市線の利用者がふえ、混雑は危機的状況になると予測される。区は東急電鉄に対し、抜本的な改善を求めよ。

教員人事権の移譲の実現

義務教育を充実するための世田谷9年教育の実現には、教員人事権の都から区への移譲が不可欠だ。国が移譲の検討に入った今こそ、国や都に強く働きかけよ。

認知症の専門機関の創設

認知症はだれにでも起こりうる病気であり対策が急務だ。認知症の専門的医療や研究、介護者の育成などに総合的に取り組む施設を梅ヶ丘病院跡地に創設せよ。

地上デジタル放送に伴う周知

地上デジタル放送に伴う高齢者世帯での円滑な移行と消費者被害の防止には情報提供が重要だ。電器店と連携し、地デジサポートの制度などを一層周知せよ。

すがや やすこ議員(民主)

デジタルサイネージの導入

効果的な情報発信の手法を検討すべきだ。庁舎内のテレビなどに災害や地域別の情報、企業広告などを表示できるデジタルサイネージ(電子看板)を導入せよ。

区立保育園民営化の検証

区立保育園の民営化は保護者とともに進めてきたものであり、今後3人の学識経験者だけで民営化の検証を行うことに不安が残る。どう検証を進めていくのか。

外郭団体の埋蔵金

区の外郭団体の中には、区からの補助金を使わずに運転資金と称して蓄え、貯蓄が数億円規模に達しているところがある。区は補助金を見直して大幅に削減せよ。

交通不便地域解消の取り組み

交通不便地域における移動手段の確保は重要だ。自動車学校の送迎バスやデイサービスの福祉車両に地域の高齢者や障害者が同乗できるように事業者に働きかけよ。

区施設の空き時間の有効活用

区民施設の利用団体がふえており、健康体操などの活動を地域で継続することが困難な状況だ。公共施設等の空き時間などに利用できるよう柔軟な施設運用を行え。

社会起業家への支援策の強化

社会起業家を目指す人材を誘致し、区を社会起業家の集積地として発展させるべきだ。国の地域社会雇用創造事業を活用するなど、支援策を強化し、広く周知せよ。

岡本 のぶ子議員(公明)

女性の働きやすさの推進

区は現政権が予算を削減したことを理由に、22年度は女性特有のがんの検診無料クーポン事業の実施を見送った。受診率が大幅に向上した実績を踏まえ継続せよ。

あしんすこやかセンターの周知

あしんすこやかセンターの認知度向上が高齢者の見守りネットワークの強化につながる。特に介護する側の40〜50歳代を対象にセンターの存在を周知せよ。

区の幼児教育のあり方

幼児期の教育の必要性は高く、今後保育園や幼稚園の別なく教育の保障が求められる。子ども心の育ちの重要性を踏まえた幼児教育のあり方への見解を示せ。

区内の保育待機児童数は昨年を上回り、3年連続で都内最悪となった。後期子ども計画における26年度までの保育サービス受入枠拡大の目標達成に全力を挙げよ。

生涯大学と市民大学の発展的統合
生涯大学と市民大学は受講者評価も高く意義深い事業だ。これらの大学を統合すれば広報や事務等のコストが圧縮でき、講座内容拡充に回せるので検討せよ。

社会起業家への支援策の強化

社会起業家を目指す人材を誘致し、区を社会起業家の集積地として発展させるべきだ。国の地域社会雇用創造事業を活用するなど、支援策を強化し、広く周知せよ。

歴史的財産に関する情報発信

区内にある旧跡などの歴史的財産を生かすべきだ。話題になりそうな報道・ドラマなどをいち早く把握し、関連する歴史的財産を積極的にPRする部署を設けよ。

ひうち 優子議員(世田谷)

自転車の総合計画の策定

自転車の安全利用の促進に力を入れるべきだ。策定予定の自転車総合計画には、ルールの周知をはじめ、駐輪場の整備などソフトとハード両面の視点を盛り込め。

自転車を譲り受けた場合の手続

自転車を利用する環境整備を目指す。自転車を利用する際に必要となる手続を知らない区民は多い。防犯登録の変更手続や譲渡証明書の記載内容など、必要な情報を区民にわかりやすく周知せよ。

花粉症対策の充実

年間を通じた花粉症対策が重要だ。飛散量や予防法、治療法などをホームページ上で詳細に掲載している都の事例も参考に、区も花粉症対策に積極的に取り組め。

区立校での喫煙マナーの向上

学校行事の際に校門の外で喫煙する保護者が見受けられる。子どもがマナーを学ぶという視点も踏まえ、適切な喫煙場所を設けるなど区立校で喫煙対策を講じよ。

新型インフルエンザ対策の強化

感染症対策では素早い対応が必要だ。昨年の新型インフルエンザ流行時の区の対策を改めて検証し、強毒性インフルエンザの発生に対する態勢を強化せよ。

魅力的な商店街の形成

祖師ヶ谷大蔵駅周辺のまちづくりでは魅力的な商店街の形成を目指すべきだ。壁面後退で生じた空間と商店街通りを一体的に整備し、安全な歩行空間を確保せよ。

重政 はるゆき議員(民主)

天下りについての区定義

区は先の定例会で、給料の低さと退職金がないことを理由に、外郭団体への退職職員の再就職は天下りではないと明言した。では、区が定義する天下りとは何か。

退職職員の天下り先の公表

退職職員の再就職先を一括公表するよう再三求めてきたが、その後区はどう取り組んだのか。

部活動を頑張る生徒への顕彰

関東大会出場を果たした千歳中ラグビー部を初め、部活動に熱心に取り組んでいる生徒は多い。頑張った生徒や関係者を広くねぎらえるよう顕彰方法を工夫せよ。

祖師ヶ谷大蔵駅北側のまちづくり

祖師ヶ谷大蔵駅周辺地区街づくり計画の中で、北側の商店街通り沿いの建物の壁面後退が計画されているが、後退していない建物が見受けられる。理由を示せ。

魅力的な商店街の形成

祖師ヶ谷大蔵駅周辺のまちづくりでは魅力的な商店街の形成を目指すべきだ。壁面後退で生じた空間と商店街通りを一体的に整備し、安全な歩行空間を確保せよ。

障害者の就労支援の充実

障害者からの多岐にわたる相談に的確に対応できる体制づくりが必要だ。相談を受ける職員の技術向上を図るなど、相談支援の充実に向けた取り組みを進めよ。

鈴木 昌二議員(自民)

障害者の就労支援の強化

不況の影響で障害者の就労は厳しい状況だ。障害者の就労支援に加え、企業の障害者雇用への理解を促す取り組みを福祉部門と産業振興部門が連携して強化せよ。

障害者の就労支援策の検証

障害者の就労支援を一層推進すべきだ。在宅就労への支援や区役所での障害者チャレンジ雇用などの新たな事業が有効なものとなるよう、効果や課題を検証せよ。

般

質

一

第3回定例会は9月中旬から開催する予定です



ふるさと区民まつり（7月31日（土）・8月1日（日）に開催）

議会日誌

閉会中に開催された委員会

- 5月25日（火） 議運
- 26日（水） 企画、区民、文教
- 27日（木） 福祉、都市
- 28日（金） 分権、オウム、清掃、交通
- 6月1日（火） 議運

会期中の主な会議日程

- 6月9日（水） 本会議（代表質問）、議運
- 10日（木） 本会議（代表質問、一般質問）
- 11日（金） 本会議（一般質問、議案の付託など）
- 14日（月） 企画、区民、文教
- 15日（火） 福祉、都市
- 16日（水） 分権、オウム、清掃、交通
- 18日（金） 本会議（議案の議決、請願の付託など）、議運

委員会名称

- 企画 = 企画総務常任委員会
- 区民 = 区民生活常任委員会
- 福祉 = 福祉保健常任委員会
- 都市 = 都市整備常任委員会
- 文教 = 文教常任委員会
- 議運 = 議会運営委員会
- 分権 = 地方分権・庁舎問題等対策特別委員会
- オウム = オウム問題・災害・防犯等対策特別委員会
- 清掃 = 清掃・リサイクル対策特別委員会
- 交通 = 公共交通機関対策等特別委員会

- 区民生活常任委員会
委員長 重政はるゆき（民主）
副委員長 鈴木昌二（自民）
- 福祉保健常任委員会
委員長 飯塚和道（公明）



議員名	変更前	変更後
飯塚 和道 (公明)	区民生活 常任委員会	福祉保健 常任委員会
岡本 のぶ子 (公明)	福祉保健 常任委員会	区民生活 常任委員会
西村 じゅんや (民主)	公共交通機関 対策等特別委 員会	オウム問題・災 害・防犯等対策 特別委員会
稲垣 まさよし (みんな)	オウム問題・災 害・防犯等対策 特別委員会	公共交通機関 対策等特別委 員会

委員の所属変更
次とおり、議員の所属委員会
が変更となりました。

- 議会運営委員会
中塚 さちよ委員（民主）

自由民主党世田谷区議団	13人
公明党世田谷区議団	10人
世田谷区議会民主党	8人
日本共産党世田谷区議団	5人
生活者ネットワーク世田谷区議団	4人
せたがや政策会議	3人
社会民主党世田谷区議団	2人
無党派市民	1人
減税世田谷	1人
みんなの党せたがや	1人
レインボー世田谷	1人
世田谷無所属の会	1人
無所属	1人
合計	51人

(欠員1人)

会派等の構成の変更
稲垣まさよし議員が、6月18日
付で新たに「みんなの党せたがや」
を結成しました。この結果、区議
会の会派等の構成は次のとおりに
なりました。

区議会インターネット中継をご利用ください

本会議と予算・決算特別委員会の模様を会議当日にホームページで生中継しています。

録画映像は会議の翌朝からご覧いただけます。また、会議終了から約2週間後には議員の質疑時間ごとに見やすく編集した映像をごらんいただけます。

いずれの映像も区議会トップページの「議会中継」からごらんください。

次回、第3回定例会は9月に開催する予定です。

会期などは、区議会だより、ホームページなどでお知らせいたします。



※画面はイメージです

《ホームページアドレス》

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>

または、区のホームページ「[世田谷区議会](#)」からアクセスしてください。

声の区議会だよりは、年4回開催される定例会ごとに作成しています。

収録内容は区議会だより紙面版と同じく、議決内容や請願、代表質問、一般質問などです。

これまではカセットテープ版のみでしたが、8月上旬発行予定の第2回定例会号からは、パソコンなどで再生可能なデジタイズ（CD-ROM）版も発行します。

視覚障害のある方などで希望される方には定期的にお送りしていますので、お知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、区議会事務局調査係（☎5432-2779）までご連絡ください。

また、区立図書館では過去1年以内に発行された区議会だよりのテープ版を貸し出しています。ぜひご利用ください。



声の区議会だよりを
お届けしています

編集後記

○今定例会では、36名の議員が、都市基盤の整備や高齢者施策のさらなる充実など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。なお、本会議や予算・決算特別委員会の模様を、区役所第1、第3庁舎、総合支所、文化生活情報センター内の市民活動支援コーナーで生中継しています。ぜひごらんください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL（五四三二）二七七九
TEL（五四三二）二七七九
FAX（五四三二）三〇三〇

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてはお知りになりたい方は、会議録（9月上旬発行予定）をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えています。また、ホームページでもごらんいただけます。



第56回夏季農産物品評会での品評展示会の様子